

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百九十三號

海軍大臣官房

昭和十六年九月九日(火)

○通牒

官房第四七五四號

昭和十四年官房第二二三五號歐文電報宛名略語中左ノ
通改ム

昭和十六年九月九日

海軍省 副官

二、歐米其ノ他各國各其ノ駐在地電信局登記ノモノ中

「亞爾然丁國帝國公使館附武官」ノ次ニ左ノ如ク加フ

Kaigun Riodejaneiro

リオデジ
ネイロ 國公使館附武官

(昭和十四年五月四日海軍公報(部内限)附錄參照)

經覽第一一一號

昭和十六年九月九日

海軍省 經理局

關係各廳御中

國有財産増減事由用語ニ關スル件通知

海軍公報(部内限) 第三千八百九十三號

昭和十六年九月九日

一一八三

曩ニ配布致候國有財産増減事由用語記載例ニ別紙ノ通
追加相成候
(別紙一葉添)

○感 狀

横山海軍大尉ノ指揮セシ

第十二航空隊戦闘機隊

昭和十六年三月十四日全支快晴ノ好機ニ乗ジ戦闘機ハ
偵察機ノ適切ナル協力ノ下ニ長驅成都ニ進撃成都周邊
飛行場ニ於テ熾烈ナル敵防禦砲火ヲ冒シツツ低空銃撃
ニ依リ敵機七機ヲ炎上又ハ大破セシメタル後上空ヨリ
反撃シ來レル敵戦闘機ト空戦共ノ二十七機ヲ擊墜シタ
ルハ武勳顯著ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十六年八月二十一日

支那方面艦隊司令長官 嶋田 繁太郎

0092

鈴木海軍大尉ノ指揮セシ

第十二航空隊戦闘機隊

昭和十六年五月二十六日戦闘機十一機偵察機二機ハ長
驅甘肅省天水飛行場ヲ急襲シ同飛行場上空ニ於テ優勢
ナル敵戦闘機ニ對シ敢然突撃克ク其ノ五機ヲ撃墜シタ
ル後再ビ同飛行場ヲ急襲着陸直後ノ敵機十八機ヲ果敢
ナル低空銃撃ニ依リ悉ク炎上セシメタルハ武勳顯著ナ
リ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十六年八月二十一日

支那方面艦隊司令長官 嶋田繁太郎

○辭令

○昭和十六年九月一日

(各通)

敍從六位

(各通)

敍正七位

海軍大尉 山口 寅雄
海軍特務中尉 中西 榮作

海軍技師 寺石 重正
海軍特務少尉 坂本 正二
同 鯨田 光三

(各通)

敍從七位

海軍技術會議議員海軍中將 小澤 治三郎
海軍高等技術會議議員ヲ命ス
海軍技術會議議員海軍少將 鈴木 義尾
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス
海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス(以上ハ四海軍省)

海軍教授 久保 一馬
海軍技師 瀧井 壽吉
同 諸富 有海
同 水之江 貫之
同 菅野 好夫
同 長岡 幸三
同 津吉 良幸
同 井上 長三郎
同 安室 信平
同 坪川 琢
同 高野 政夫
海軍理事官 工原 安藏
海軍軍樂兵曹長 椿原 良作
海軍兵曹長 中崎 清春
海軍技師 苗加 孝一

0093

軍令部出仕海軍大佐 田口 太郎
第一部第二課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍中佐 中野 政知
第一部第一課勤務ヲ命ス

同 井上梅二郎
第二部第三課勤務ヲ命ス(以上^{九〇四}軍令部)

軍令部出仕海軍中佐 杉浦 矩郎
第二部第三課勤務ヲ命ス(九〇四同)

海軍少將 鈴木 義尾
參謀部第二部長ヲ命ス(九〇四大本營海軍部)

海軍中佐 三田 國雄
海軍少佐 山ノ上庄太郎
(各通)

海軍機關中佐 金井 倉太郎
海軍機關大尉 川口 榮一

海軍航空本部航空事故研究調査會委員ヲ命ス(海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚
第十一航空艦隊司令長官ハ九月六日將旗ヲ鹿屋海軍航

空隊ヨリ横濱海軍航空隊ニ一時移揚セリ

○旗艦變更
第三潜水戰隊司令官ハ九月五日旗艦ヲ五十鈴ヨリ大鯨ニ變更セリ

海軍公報(部内限)第三千八百九十三號

昭和十六年九月九日

一一八五

0094

(別紙)

(昭和十六年九月九日海軍公報(部内限))

國有財産増減事由用語記載例		種別	區分	改正箇所	摘要
雑種財産	土地	十四行目 「何省ヨリ引受 元、ハ、ハ、」 ノ摘要欄ヲ下記ノ通 トス	陸軍省又ハ海軍省ヨリ引繼 ヲ受ケタルトキハ元用途ノ 記入ヲ省略スルモノトス	陸軍省又ハ海軍省へ管理換 ヲ爲シタルトキ及國防上祕 密ヲ要スル財産トシテ植民 地各廳へ管理換ヲ爲シタル 場合ハ其ノ用途ノ記入ヲ省 略スルモノトス	陸軍省又ハ海軍省へ管理換 ヲ爲シタルトキハ單ニ「何 省へ引繼」トス
立木竹	十五行目 「何管理廳」ヨリ引 受 元、ハ、ハ、」 ノ摘要欄ニ下記但書 ヲ加フ	二十二行目 「何々敷トシテ 何省へ引繼」 ノ摘要欄ニ下記ニ項 ヲ追加ス	陸軍省又ハ海軍省ヨリ引繼 ヲ受ケタルトキハ元用途ノ 記入ヲ省略スルモノトス	陸軍省又ハ海軍省へ管理換 ヲ爲シタルトキハ單ニ「何 省へ引繼」トス	陸軍省又ハ海軍省へ管理換 ヲ爲シタルトキハ單ニ「何 省へ引繼」トス
建物	九行目 「何省」ヨリ引受 元、ハ、ハ、」 ノ摘要欄ヲ下記ノ通 トス	十五行目 「何々敷ト共ニ 何省へ引繼」 ノ摘要欄ヲ下記ノ通 トス	陸軍省又ハ海軍省ヨリ引繼 ヲ受ケタルトキハ元用途ノ 記入ヲ省略スルモノトス	陸軍省又ハ海軍省へ管理換 ヲ爲シタルトキハ單ニ「何 省へ引繼」トス	陸軍省又ハ海軍省へ管理換 ヲ爲シタルトキハ單ニ「何 省へ引繼」トス
工作物	十四行目 「何管理廳」ヨリ引 受 元、ハ、ハ、」 ノ摘要欄ニ下記但書 ヲ加フ	十七行目 「何管理廳」ヨリ引 受 元、ハ、ハ、」 ノ摘要欄ニ下記但書 ヲ加フ	但シ國防上祕密ヲ要スル財 産ニ付テハ元用途ノ記入ヲ 省略スルモノトス	但シ國防上祕密ヲ要スル財 産ニ付テハ元用途ノ記入ヲ 省略スルモノトス	但シ國防上祕密ヲ要スル財 産ニ付テハ元用途ノ記入ヲ 省略スルモノトス

0095

○艦船所在 指定ヲ要セズ

九月九日午前十時

【横須賀】

春日▲ 劍埼▲ 山城▲ 比叡、神威、赤城、沖島、國後、陸奥、五十鈴、高雄、瑞穂、香取、翔鶴、蒼龍、嚴島

曙、艦、野分、舞風、萩風、朝風、旗風、夕立、五月雨、春雨、曉、響、雷、電、潮、漣

伊九、伊一九、伊一八、伊二三、伊二二、伊九、驅潜一、驅潜二、驅潜三

津輕▲(伊三三)▲(伊三三)▲(伊三七)▲

長浦▲ 伊二、伊一、伊三、伊二〇、伊二三、伊三四

横濱▲ 哨一▲ 哨二▲ 哨三▲ 哨四▲ 秋雲▲(驅潜三)▲

浦賀▲ 秋雲▲(驅潜三)▲

館山▲ 秋雲▲(驅潜三)▲

大湊▲ 石垣▲ 驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四

吳▲ 淺間▲ 八雲▲ 摩耶▲ 熊野、三隈、最上、鈴谷、龍驤、神通、鳥海、初鷹、愛宕、鳳翔、長鯨、白鷹、球摩、千代田、夕霧、朝霧、天霧、狹霧、吳竹、早苗

【大 阪】

若竹、雪風、天津風、浦波、夏雲、峯雲、朝雲、山雲、不知火、霞、海風、江風、山風、涼風、親潮、夏潮、呂五七、呂五八、呂五九、呂六四、伊八、伊五三、伊五四、伊五五、伊七〇、伊六八、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊五六、伊五八、伊五九、伊二二、伊二三、掃一四、掃一五、掃一六

驅潜七、驅潜八、驅潜九、驅潜二〇、驅潜二一、哨四六、哨三三、哨三三、哨三四、哨三五、檜野、石廊、尻矢、襟裳、間宮

日進▲(伊二七)▲(伊三五)▲(伊七六)▲

神戶▲ 伊五七

因生▲ 瑞鶴▲(伊良湖)▲(伊一〇)▲(伊三五)▲(伊三一)▲(伊四一)▲(伊一一)▲(秋津洲)▲(驅潜一九)▲(驅潜二三)▲(若鷹)▲

相島▲ 哨一

佐伯▲ 哨一

舞鶴▲ 哨三

吾妻▲ 龍田、利根、筑摩、多摩、木曾、蒼鷹、名取、薄雲、夕風、鳩、鷲

呂三四▲ 呂六三、呂六八、掃一九

海軍公報(部内限)第三千八百九十三號

昭和十六年九月九日

一一八七

0096

【佐世保】

▽ 驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、
哨三六、哨三七、
(夕雲) (秋月) ▲
加賀、飛龍、霧島、▽ 妙高、羽黑、北上、
由良、▽ 千歲、▽ 川内、八重山、阿武隈、
有明、▽ 白雲、東雲、叢雲、▽ 若葉、初霜、
子日、初春、望月、睦月、卯月、▽ 菊月、
夕月、沖風、峯風、▽ 文月、皐月、水無月、
長月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇、
呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六四、
伊六一、伊六二、伊六四、
▽ 驅潛四、驅潛五、驅潛六、
哨三九、哨三八

敷島▲

(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

【長崎】

那智、芙蓉

【作業地】

▽ 驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八、
出雲、▽ 宇治、安宅、二見、伏見、比良、
熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、
▽ 足柄、八丈、嵯峨、橋立、磐手、▽ 香椎、
占守、▽ 長門、▽ 日向、伊勢、加古、古鷹、
▽ 大鯨、扶桑、金剛、榛名、▽ 青葉、衣笠、
瑞鳳、▽ 長良、▽ 鹿島、天龍、▽ 夕張、
▽ 迅鯨、勝利、駒橋、能登呂、▽ 鬼怒、
常磐、大井、
栗、梅、蓮、刈萱、▽ 秋風、太刀風、羽風、

【航海中】

▽ 春風、松風、▽ 綾波、磯波、敷波、▽ 大潮、
荒潮、朝潮、滿潮、▽ 初雪、白雪、吹雪、
陽炎、▽ 早潮、黑潮、▽ 谷風、濱風、▽ 朝風、
追風、疾風、夕風、▽ 白露、夕暮、時雨、
▽ 如月、彌生、▽ 神風、沼風、野風、波風、
三月月、
▽ 鶺鴒、雉、真鶴、▽ 初雁、
友鶴、千鳥、
▽ 呂六二、▽ 伊四、伊五、伊六、伊七、▽ 伊一七、
伊一五、伊一六、▽ 伊六五、▽ 伊六九、
掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、▽ 掃七、
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、▽ 掃一七、
掃一八、
宗谷、攝津、佐多、知床、朝日、室戸、
鳴戸、鶴見

浦風、磯風 (一日作業地發一吳) ()
早鞆 (一日作業地發一徳山) ()
▽ 掃一三 (六日吳發一作業地) ()
隱戸 (六日作業地發一吳) ()
初風 (七日大阪發一吳) ()
伊六六 (七日玉發一吳) ()
野島 (八日吳發一横須賀) ()

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千八百九十四號

昭和十六年九月十日(水)

海軍大臣官房

○通牒

官房第四七八〇號

昭和十六年九月十日

海軍省 副官

各部御中

支那事變記念寫真帳賞費頒付ノ件照會

昭和十四年官房第二四五八號ノ二(五月十三日海軍公報(部内限)参照)ニ依ル首題寫真帳殘部(約二、八〇〇部)有之希望者ニハ賞費頒布可致ニ付要望數各部ニテ取纏メ左記ニ依リ申込相成度

記

一、申込先 海軍省經理局獻金係

(振替東京一四二八三二番)

二、申込期日 昭和十六年十月十日

三、價 格 五圓七拾錢

四、送 料 四部迄(一部ニ付)五〇錢、九部迄(一部ニ付)四五錢、二九部迄(一

教育機密第二二〇號

昭和十六年九月九日

海軍省 教育局長

關係各廳長殿

教育報告ニ關スル件申進

昭和十六年度教育報告ハ軍隊教育規則第九十七條ノ規定ニ拘ラズ左ノ二項ニ就キ要點ノミヲ簡明ニ記述ノコトニ取計相成度
一、各種教育上特ニ研究シ得タル事項
二、意見

經物機密第一五號

準備購入材料物品整理手續申左ノ通改正ス

昭和十六年九月十日

海軍省 經理局長

第二號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

海軍公報(部内限)第三千八百九十四號

昭和十六年九月十日

二八九

0098

二ノ二 前號ノ規定ハ經理局長準備購入契約ヲ他ノ契約擔任官ニ委託シ又ハ所屬ノ資金前渡官吏ヲシテ代價ノ支拂ヲ爲サシメタル場合ニ之ヲ準用スルモノトス

第八號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

八ノ二 資金前渡官吏ノ支拂ニ係ルモノニ付テモ前各號ノ手續ニ依リ供給支出官ノ定額ニ戻入スルモノトス

第九號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

九ノ二 資金前渡官吏準備購入材料物品ノ代價ヲ支拂ヒタルトキハ直ニ契約番號、品名、數量、代價及前渡額等ヲ具シ支出官及供給會計官吏ニ報告又ハ通知スルト共ニ其ノ支拂殘額ニ付テハ海軍會計規程第三十三條ノ手續ヲ爲スモノトス

九ノ三 資金前渡官吏ニ對スル前渡額ハ一契約毎ニ算定シタル額ニ依ルモノトス
十二 削除

○ 辭 令

九州帝國大學助教授 向井 參之充
第三海軍燃料廠ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(十四日海軍)

(省)

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(十四日同)
海外駐劄財務官 木内 四郎

支那方面艦隊ニ於ケル防疫事務囑託ヲ解ク(十四日同)
厚生省防疫官 佐藤 太郎

第五艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス
吉良 勝
但シ報酬年額貳千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(十四日同)

臺灣總督府技師 小林 義雄
第二遣支艦隊ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(十四日同)

臺灣總督府州港務官海軍大佐 草川 淳
馬公要港部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(十四日同)

(各通) 商工技師 曾根 文二
同 太田 慶藏

(各通) 商工事務官 關口 一元

海軍省事務ヲ囑託ス(十四日同)
各 七百五拾圓 京都帝國大學教授 菅原 菅雄

(通) 百圓 東京帝國大學助教授 吉原 英夫

海軍技術研究所ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ贈與ス

0099

正四位勳三等 吉岡 藤作
海軍技術研究所ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ部内限勅
任官待遇トス

關東氣象臺技師 草間 茂登
旅順要港部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

海軍豫備少尉 田村 弘武
海軍省兵備局事務囑託ヲ解ク(以上九四四同)

第一課勤務ヲ命ス(九四四海軍省軍需局)

○ 雜 款

○旗艦變更

第四潜水戰隊司令官ハ九月六日旗艦ヲ伊號第五十六潜水艦ヨリ鬼怒ニ變更セリ

○司令驅逐艦復歸

第十五驅逐隊司令ハ九月三日司令驅逐艦ヲ黑潮ヨリ早潮ニ復歸セリ

○司令潜水艦一時變更

第三十潜水隊司令ハ九月二日司令潜水艦ヲ一時伊號第六十五潜水艦ヨリ伊號第六十六潜水艦ニ變更セリ

第二潜水隊司令ハ九月五日司令潜水艦ヲ一時伊號第十八潜水艦ヨリ伊號第十九潜水艦ニ變更セリ

○司令掃海艇一時變更

第三十一掃海隊司令ハ九月四日司令掃海艇ヲ一時第七玉丸ヨリ第八拓南丸ニ變更セリ

○郵便物發送先

第五十一警備隊宛
自今 佐世保郵便局氣付 海軍千知波部隊

當隊宛郵便物ハ九月十日以後當分ノ間左記ニ依リ發送相成度

記

本隊宛

鹿屋市鹿屋海軍航空隊氣付

龜井部隊

殘留部隊宛

臺灣高雄州高雄海軍航空隊氣付

龜井部隊殘留部隊

尙給與關係書類ハ右區分ニ不拘凡テ殘留部隊宛送付相成度

(第三 航 空 隊)

○書類發送ニ關スル件

當隊九月以後分離行動ヲナスニ付從來司令艇(筑紫丸)宛一括送付セラレタル書類ハ凡テ各艇別ニ送付ヲ得度尙書類延着ノ虞アルニ付急ヲ要スルモノハ成ルベシ航

空便ニ依ラレ度

(第四掃海隊)

○事務開始
第五十一警備隊事務ヲ九月一日佐世保海兵團内ニ於テ開始セリ

第五十二警備隊ハ九月廿日ヨリ舞鶴海兵團ニ於テ事務ヲ開始セリ

追テ郵便物ハ左記ニ依リ送付相成度

記

舞鶴海兵團氣付 阪本部隊

○正誤 (誤)
一昨八日辭令欄中海軍中佐堀 武雄及海軍機關中佐本橋精一辭令文中「(除航空關係)」ハ衍

0101

○艦船所在

指▲印ハ「ハ」ホノ
指定ヲ要セズ

九月十日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、比叡、神威、
赤城、沖島、國後、陸奥、五十鈴、
高雄、瑞穂、香取、翔鶴、蒼龍、
嚴島、長門

曙、朧、野分、舞風、萩風、朝風、旗風、
春風、松風、夕立、五月雨、春雨、曉、
響、雷、電、潮、漣

伊一九、伊一八、伊二三、伊二二、
伊一九、伊一八、伊二三、伊二二、
伊一九、伊一八、伊二三、伊二二、

【長浦】

伊二、伊一、伊三、伊二〇、伊二三、
伊二四

伊二四、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、
哨一、哨二

【横濱】

秋雲▲、筑紫▲、(驅潜三)▲、
帆風、村雨

【浦賀】

秋雲▲、筑紫▲、(驅潜三)▲、
帆風、村雨

【館山】

秋雲▲、筑紫▲、(驅潜三)▲、
帆風、村雨

【大湊】

秋雲▲、筑紫▲、(驅潜三)▲、
帆風、村雨

海軍公報(部内限)第三千八百九十四號

昭和十六年九月十日

一一九三

夕霧、朝霧、天霧、狹霧、吳竹、早苗、
若竹、雪風、天津風、浦波、夏雲、
峯雲、朝雲、山雲、不知火、霞、
海風、江風、山風、涼風、親潮、夏潮、
呂五七▲、呂五六▲、呂五九、呂六四、伊八、
伊五三▲、伊五四、伊五五▲、伊七〇、伊六八、
伊七二、伊七一、伊七三、伊七四、伊七五、
伊五六、伊五八、伊一二、伊一三、
掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八、
驅潜七、驅潜八、驅潜九、驅潜一〇、驅潜二、
哨四六▲、哨三三、哨三四、哨三五、
樺野、石廊、尻矢、襟裳、間宮、明石、
日進▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲、
矢風、時津風、球摩

0102

【大戸】

伊五七

【相生】

瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲、
(伊三一)▲、(伊四二)▲、(伊一一)▲、(秋津洲)▲、
(驅潜一九)▲、(驅潜三三)▲、(若鷹)▲、
伊六〇▲

【德山】

早鞆

【舞鶴】

驅潜特五一▲、驅潜特五二▲、驅潜特五三▲、
哨三

【舞鶴】

吾妻▲、龍田、利根、筑摩、多摩、
木曾、蒼鷹、名取、長良、
薄雲▲、夕風、鳩、鷲

【佐世保】

加賀、飛龍、霧島、妙高、羽黒、北上、山良、千歳、川内、八重山、阿武隈、那智

有明、白雲、東雲、叢雲、若葉、初霜、子日、初春、望月、陸月、卯月、菊月、夕月、沖風、峯風、文月、草月、水無月、長月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂六〇、呂六一、呂六五、呂六六、呂六七、伊五九

伊六一、伊六二、伊六四、驅潛四、驅潛五、驅潛六

哨三九、哨三八、敷島

【鎮海】

朝顔、芙蓉、(伊二四)、(伊二九)、(伊三九)

【作業地】

出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、足柄、八丈、嵯峨、橋立、磐手、香椎、占守、日向、伊勢、加古、古鷹、大鯨、扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、瑞鳳、鹿島、天龍、夕張、迅鯨、勝力、駒橋、能登呂、鬼怒、常磐、大井

【航海中】

栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、羽風、綾波、磯波、敷波、大潮、荒潮、朝潮、滿潮、初雪、白雪、吹雪、陽炎、早潮、黑潮、谷風、濱風、朝風、追風、疾風、夕風、白露、夕暮、時雨、如月、彌生、神風、沼風、野風、波風、三日月、鵠、鴻、隼、鴨、雁、雉、真鶴、初雁、友鶴、千鳥、呂六二、伊四、伊五、伊六、伊七、伊九、伊一七、伊一五、伊一六、伊二三、伊六五、伊六九、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、宗谷、攝津、佐多、知床、朝日、室戸、鳴戸、鶴見

浦風、磯風 (一日作業地發一吳)、(六日吳發一作業地)

掃一三 (六日作業地發一吳)、(七日大阪發一吳)、(八日吳發一橫須賀)、(九日吳發一橫須賀)、(九日吳發一佐世保)、(九日吳發一舞鶴)

0103

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年九月十日(水)
海軍大臣官房

表彰

金四百圓

海軍一等兵曹 成 瀬 正 雄

昭和十五年特別大演習ニ從事中其ノ乗艦ガ故障ノ爲沈没ノ危機ニ瀕スルヤ死ヲ以テ突差ニ適切ナル處置ヲ施シ克ク一艦ノ危難ヲ救ヘリ之平素鍛鍊セル軍人精神ノ發露ニシテ正ニ全軍ノ龜鑑タリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

昭和十五年八月二十六日

海 軍 大 臣

七寶花瓶一個 金參百圓

海軍大佐 上 野 治 作

七寶花瓶一個

海軍造兵中將 日 高 敏 一

同

海軍中將 川 瀬 義 重

(各通)

同

海軍造兵大佐 近 藤 非 樹

硯屏一個 金貳百圓

元海軍技師 土 本 宇 之 助

同

海軍技師 秦 千 代 吉

特殊彈ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ(各頭書ノ通)ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海 軍 大 臣

海軍公報 (部内限) 號外

特殊彈ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ七寶花瓶一個ヲ賞與ス

海軍大佐 阿部謙一

昭和十五年一月二十六日

海軍 大 喜 一

保溫配食器ヲ考案完成シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

海軍主計特務少尉 春内喜一

昭和十六年八月十九日

海軍 大 喜 一

炊飯法ヲ研究改善シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ金百圓ヲ賞與ス

海軍主計特務中尉 新田寅二

昭和十六年八月十九日

海軍 大 喜 一

(各通)

海軍一等主計兵曹 小野寺真助

海軍三等主計兵曹 藤森竹市

海軍二等主計兵曹 室町正

海軍三等主計兵曹 戸塚正之

炊飯法ノ研究改善ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

昭和十六年八月十九日

海軍 大 喜 一

航空天測表ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ硯屏一個、金百五拾圓ヲ賞與ス
海軍飛行特務少尉 松 丸 三 郎

昭和十六年八月十九日 海軍 大 臣

航空兵器ヲ考案改善シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ金百圓ヲ賞與ス
海軍整備兵曹長 平 床 實 二

昭和十六年八月十九日 海 軍 大 臣

水中卸臺ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ金貳百圓ヲ賞與ス
海軍技師 國 松 房 藏

昭和十六年八月十九日 海 軍 大 臣

硯 屏 一 個 金 參 百 圓 海軍技師 鬼 頭 史 城

(各通) 硯 屏 一 個 海軍造機少佐 中 山 三 郎

同 海軍造船少佐 近 藤 忠 夫

推進器振動防止法ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ(各頭書ノ通)ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日 海 軍 大 臣

元海軍技師 武 井 彌 八

筋内面「ホーニング」装置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ金參百圓ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海軍 大 臣

海軍機關特務中尉 村上 榮

避雷装置ヲ考案シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ金百五十圓ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海軍 大 臣

元海軍技師 大津 恒雄

探照燈用炭棒製造法ヲ研究完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ金貳百五十圓ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海軍 大 臣

海軍技師 高杉 康雄

探照燈用炭棒製造法ノ研究ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ金百圓ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海軍 大 臣

中 西 金 作

現字機ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ視屏一個ヲ授與ス

昭和十六年八月十九日

海軍 大 臣

0107

機銃射撃装置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ視屏一個ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海軍造兵中佐 尾 河 武 雄

海 軍 大 臣

(各通)

機銃射撃装置ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ玆ニ之ヲ表彰ス

昭和十六年八月十九日

海軍造兵少佐 濱 崎 諒
海軍造兵中佐 伊 達 勝 一
海軍技師 千 川 芳 太 郎

海 軍 大 臣

機銃射撃装置ノ考案ニ方リ克ク上司ヲ輔佐シ之ガ完成ニ寄與シ帝國海軍ニ裨益スル所不尠仍テ金百五拾圓ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海軍技師 中 本 正 雄

海 軍 大 臣

壓力計、魚雷發射裝藥及特殊彈ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ視屏一個、金參百五拾圓

海軍技師 鈴 木 初 太 郎

0108

ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海軍 大臣
海軍 大 臣
海軍 村 本 規 矩 治
海軍 技 手

接合劑ヲ考案完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ硯屏一個、金百五拾圓ヲ賞與ス

昭和十六年八月十九日

海 軍 大 臣

0109

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百九十五號

昭和十六年九月十一日(木)

海軍大臣官房

○通牒

官房第四七五七號

昭和十六年九月九日

海軍諸例
則登載

海軍省 副官

各 應 長 殿

弔慰内規ニ關スル件申進

海軍省弔慰内規別冊ノ通改訂相成候條可然取計相成度

追テ八月一日官房第四一二三號中本省ニ關スル分ハ

自然消滅ノ義ト了知相成度

(別冊添)

○辭令

海軍主計特務少尉 井上行太郎

艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ免ス(ハナハシ)支出官 海

軍省經理局長)

○將旗一時移揚

第四航空戰隊司令官ハ九月九日將旗ヲ一時龍驤ヨリ佐伯訓練基地ニ移揚セリ

○旗艦變更

第一航空艦隊司令長官ハ九月八日旗艦ヲ赤城ニ變更セリ

海軍公報 (部内限) 第三千八百九十五號

昭和十六年九月十一日

一一九五

0110

昭和十六年九月十一日海軍公報(部内限)別冊

弔慰内規

海軍省

0111

本弔慰内規ハ海軍省ニ於テ處理スベキ弔慰ニ關シ其ノ標準ヲ規定セルモノナリ

昭和十六年九月九日

海軍省副官

(附)

本内規ハ昭和十六年九月十五日ヨリ之ヲ實施ス

0112

事	記	料物供	葬會右同				於對ニ際ノ亡死		區
			(又電弔ハ)		葬會右同		於對ニ	際ノ亡死	
一	死亡ノ際ニ於ケル弔電 弔電ハ當該所轄長ニ於テ遺族宛發電方取計フモノトス 會葬ニ代フル弔辭、弔電 一 海軍葬儀施行ノ場合ハ弔辭トシ其ノ葬喪管理者ニ於テ之ヲ取計ヒ遺族ニ傳達スルモノトス 文案ハ概ネ弔電程度トシ用紙ハ奉書卷紙ヲ用フルヲ例トス (イ) 村葬以上葬儀施行ノ場合ハ弔電トシ士官、高等文官ニ在リテハ海軍省、特務士官以下ニ在 リテハ在籍鎮守府ニテ之ヲ取計ヒ葬儀主催者宛發電スルモノトス (註) 弔電ハ遞信省告示第千六百四十號(昭和十六年七月二十二日官報)ニ依リ當分ノ間弔 辭ヲ以テ之ニ代フ文案ハ概ネ弔電程度トス	大臣	大臣	次官	大臣	次官	大臣	次官	大臣
			大臣	次官	大臣	次官	大臣	次官	大臣
一	供物料 葬喪管理者ニ於テ之ヲ取計ヒ遺族ニ傳達スルモノトス 供物料ハ毎年十月末日迄ニ取纏メ大臣官房ニ請求スルモノトス 一部内限待遇者ニ對シテハ本號各相當身分欄ヲ適用ス 特別ノ場合ハ別ニ考慮ス	一五 海軍葬儀施行ノ場合殉職者ノ 數ニ拘ハラズ一人分ヲ供フ	奏任官ノ場合 弔辭又ハ弔電	勅任官ノ場合 弔辭又ハ弔電	奏任官ノ場合 次官又ハ代理	勅任官ノ場合 大臣又ハ代理	弔電	弔電	奏任官以上 判任官以下

事	記	供物料	(又電弔) 葬會右同		族遺ルケ於ニ際ノ亡死 (電弔ハ又辭弔) 問弔				區 分 身 分	
			東京市及其ノ附近	其ノ他ノ地方 海軍葬儀又ハ官 署主催村葬以 上葬儀ノ場合ニ 限ル	大臣	大臣	大臣	大臣		大臣
一	死亡ノ際ニ於ケル弔辭又ハ弔電 弔辭又ハ弔電ハ當該所轄長ニ於テ取計ヒ遺族ニ傳達スルモノトス 文案ハ航空機事故死亡者ノ場合ノ例ニ準ズ弔辭ノ用紙ハ奉書巻紙ヲ用フルヲ例トス(以下同ジ) (註) 弔電ハ遞信省告示第千六百四十號(昭和十六年七月二十二日官報)ニ依リ當分ノ間弔辭 ヲ以テ之ニ代フ文案ハ概ネ弔電程度トス(以下同ジ)	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	勅任官	奏任官
一	會葬ニ代フル弔辭、弔電 士官、高等文官ニ在リテハ海軍省、特務士官ニ在リテハ在籍鎮守府ヨリ遺族又ハ葬儀主催者宛 發電スルモノトス但シ海軍葬儀施行ノ場合ハ其ノ葬喪管理者ニ於テ弔辭ヲ取計ヒ遺族ニ傳達ス ルモノトス	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	勅任官	奏任官
一	供物料 海軍葬儀施行ノ場合ハ其ノ葬喪管理者ニ於テ海軍葬儀施行セザル場合ハ當該所轄長(遺族在京 ノ場合ヲ除ク)ニ於テ之ヲ取計ヒ遺族ニ傳達スルモノトス	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	勅任官	奏任官
一	部内限待遇者ニ對シテハ本號各相當身分欄ヲ適用ス 特別ノ場合ハ別ニ考慮ス	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	勅任官	奏任官

第四 在郷者死亡ノ場合

事 記	料物供	葬會右同		ルケ於ニ際ノ亡死 (電弔) 間弔族遺				區 分 身 分
		東京市及其ノ附近		其ノ他ノ地方		東京市及其ノ附近		
	大 臣	人事局長	大 臣	人事局長	大 臣	人事局長	大 臣	勅 任 官
<p>一 弔電ハ海軍省ニテ取計フモノトス (註) 弔電ハ遞信省告示第千六百四十號(昭和十六年七月二十二日官報)ニ依リ當分ノ間弔辭ヲ以テ之ニ代フ文案ハ概ネ弔電程度トシ用紙ハ奉書卷紙ヲ用フルヲ例トス 一 特別ノ場合ハ別ニ考慮ス</p>	二〇四 特別詮議ニ依ル		大臣又ハ代理		弔電		大臣又ハ代理	佐 尉 士 官 官
		人事局長又ハ代理		弔電		人事局長又ハ代理		佐 尉 士 官 官

0116

附 則

本内規ニ於ケル弔辭弔電ハ概ネ左記文例ニ依ル

記

第一 戦死者ノ場合

(イ) 遺族ニ對スル弔問電

(一) 特ニ壯烈ナル戦死ヲ遂ゲタル場合

- 海軍大尉ノ壯烈ナル戦死ヲ悼ミ謹ミテ弔意ヲ表ス

海軍大臣

(二) 一般戦闘死ノ場合

- 海軍一等兵曹ノ名譽ノ戦死ヲ悼ミテ弔意ヲ表ス

海軍大臣

(三) 戦闘死ニアラザルモ事變ニ關スル勤務ノ爲事變地ニ於テ殉職シタル場合

- 海軍三等兵曹ノ名譽ノ殉職ヲ悼ミテ弔意ヲ表ス

海軍大臣

(註) 本弔電ハ進級、敝位等ノ手續完了後新官等級ヲ以テ發電スルモノトス

(ロ) 會葬ニ代フル弔辭、弔電

(一) 海軍葬儀ノ場合ニ於ケル弔辭

弔 辭

謹ミテ故海軍機關兵曹長・・・・君外(員數)勇士ノ英靈ヲ弔フ

昭和 年 月 日

海軍大臣

(二) 官公署主催村葬以上葬儀ノ場合ニ於ケル弔電

故海軍二等兵曹・・・・君ノ(村)葬ニ當リ謹ミテ英靈ヲ弔フ

海軍大臣

第二 航空機事故死亡者ノ場合

(イ) 遺族ニ對スル弔電

(一) 奏任官以上ノ場合

・海軍大尉ノ殉職ヲ悼ミ謹ミテ弔意ヲ表ス

海軍大臣

(二) 判任官以下ノ場合

・海軍飛行兵曹長並ニ・海軍一等整備兵曹ノ殉職ヲ悼ミ謹ミテ弔意ヲ表ス

海軍次官

(三) 奏任官以上及判任官以下ヲ含ム場合

・海軍飛行特務少尉並ニ・海軍三等整備兵曹、・海軍一等飛行兵ノ殉職ヲ悼ミ謹ミテ弔意ヲ表ス

海軍大臣

(註) 本弔電ハ進級、叙位等ノ手續完了後新官等級ヲ以テ發電スルモノトス

(ロ) 海軍葬儀ノ場合ニ於ケル弔辭

弔辭

故海軍飛行特務中尉・君並ニ海軍飛行兵曹長・君ノ海軍葬儀ニ當リ謹ミテ哀悼ノ意ヲ表ス

昭和 年 月 日

海軍次官

(ハ) 官公署主催村葬以上葬儀ノ場合ニ於ケル弔電

故海軍三等飛行兵曹・君ノ(村)葬ニ當リ謹ミテ哀悼ノ意ヲ表ス

海軍次官

○ 艦船所在 ▲印ハ「ハホ」ノ 指定ヲ要セズ

九月十一日午前十時

【横須賀】春日▲、劍崎▲、山城▲、▷比叡、神威、
 ▷赤城、沖島、國後、陸奥、五十鈴、
 ▷高雄、瑞穂、▷香取、翔鶴、▷蒼龍、
 ▷嚴島、▷長門、
 ▷曙、隼、野分、舞風、萩風▲、朝風、旗風、
 ▷春風、松風、夕立、五月雨、春雨、▷曉、
 ▷響、雷、▷潮、漣、
 ▷伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二、
 ▷驅潜一、驅潜二、驅潜三、
 野島
 【長浦】區▲ (津輕)▲ (伊三三)▲ (伊三七)▲
 ▷伊三、伊一、伊三、伊二〇、▷伊二三、
 ▷伊二四、
 ▷掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、
 ▷哨一▲、哨二▲
 【横濱】▷汐風、帆風、▷村雨、電
 (秋雲)▲ (驅潜三三)▲
 【浦賀】▷秋雲▲
 【館山】澤風
 【大湊】▷野風、波風
 ▷驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四、
 大泊
 【吳】▷淺間▲、八雲▲、▷熊野、三隈、最上、鈴谷、
 龍驤、▷神通、鳥海、初鷹、愛宕、鳳翔、

▷長鯨、白鷹、千代田
 ▷夕霧、夏霧、天霧、狹霧、▷吳竹、早苗、
 若竹、▷雪風、天津風、浦波、▷朝雲、
 峯雲、朝雲、山雲、▷霞、不知火、霞、
 ▷海風、江風、山風、涼風、親潮、
 ▷呂五七▲、呂五八▲、呂五九、呂六四、伊八、
 ▷伊五三▲、伊五四、伊五五▲、伊七〇、伊六八、
 ▷伊七二、伊七一、伊七三、▷伊七四、伊七五、
 ▷伊五六、伊五八、伊二二、伊二三、
 ▷掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、掃一八、
 ▷驅潜七、驅潜八、驅潜九、驅潜二〇、驅潜二一、
 ▷哨四六▲、哨三三、哨三三、哨三四、哨三五、
 樗野、石廊、尻矢、襟裳、明石
 (自進)▲ (伊二七)▲ (伊三五)▲ (伊七六)▲
 矢風、時津風、
 球摩
 【大戸】▷伊五七
 (瑞鶴)▲ (伊良湖)▲ (伊一〇)▲ (伊二五)▲
 (伊三一)▲ (伊四一)▲ (伊一一)▲ (秋津洲)▲
 【相生】(驅潜一九)▲ (驅潜三三)▲ (若鷹)▲
 伊六〇▲
 【德山】早鞆
 【佐伯】▷那珂
 ▷驅潜特五二▲、驅潜特五三▲
 哨三一
 【舞鶴】▷吾妻▲、龍田、▷利根、筑摩、▷多摩、
 木曾、蒼鷹、▷名取、▷長良、
 薄雲▲、夕風

海軍公報 (部内限) 第三千八百九十五號

昭和十六年九月十一日

一一九七

0120

鳩、鷺

呂三四▲、呂六三、呂六八

伊五二

掃一九

驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二

哨三六▲、哨三七▲

(夕雲)▲(秋月)▲

【佐世保】

加賀、飛龍、霧島、妙高、羽黒、北上、

由良、千歳、川内、八重山、阿武隈、

那智

有明、白雲、東雲、叢雲、若葉、初霜、

子日、初春、望月、陸月、卯月、菊月、

夕月、沖風、峯風、文月、皐月、水無月、

長月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇、

呂六一▲、呂六五、呂六六、呂六七、伊五九▲

伊六一、伊六二、伊六四、伊六六

驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛特五一▲

哨三九、哨三八

敷島▲ (伊二四)▲ (伊二九)▲ (伊三九)▲

【鎮海】

朝顔、芙蓉

驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八

出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、

足柄、八丈、嵯峨、橋立、磐手、香椎、

占守、日向、伊勢、加古、古鷹、大鯨、

扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、瑞鳳、

【航海中】

浦風、磯風 (一日作業地發一吳) (

掃二三 (六日吳發一作業地) (

隱戸 (六日作業地發一吳) (

初風 (七日大阪發一吳) (

摩耶 (九日吳發一橫須賀) (

石垣 (十日大湊發一作業地) (

鹿島、天龍、夕張、迅鯨、勝力、

駒橋、能登呂、鬼怒、常磐、大井、

栗、樺、連、刈萱、秋風、太刀風、羽風、

綾波、磯波、敷波、大潮、荒潮、夏潮、

朝潮、滿潮、初雪、吹雪、陽炎、

早潮、黑潮、谷風、濱風、朝風、追風、

疾風、夕風、白露、夕暮、時雨、如月、

彌生、神風、沼風、三日月

友鶴、鴻、隼、鶴、雁、雉、真鶴、初雁、

呂六二、伊四、伊五、伊六、伊七、伊九、

伊一七、伊一五、伊一六、伊二三、伊六五、

伊六九

掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、

掃一二

宗谷、攝津、佐多、知床、朝日、室戸、

間宮、鳴戸、鶴見

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千八百九十六號

昭和十六年九月十二日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四八〇五號

昭和十六年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十六年九月十一日

海軍大臣

臨時部

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
---	---	---	---	---	--------------

水陸 整備費	(事務費)				
-----------	-------	--	--	--	--

		休職俸給			タリ
--	--	------	--	--	----

○通 牒

官房機密第八三三二號

昭和十六年九月十二日

海軍省副官

各廳長 殿

軍事上ノ秘密事項調査ニ關スル件通牒
 首題ノ件ニ關シ別紙ノ通陸軍次官ヨリ海軍次官宛通牒
 有之候條了知相成度
 (諸例則卷四、四九六ノ二九頁參照)

(別紙)

陸密第二六一四號

軍事上ノ秘密事項調査ニ關スル件通牒

昭和十六年八月二十三日

陸軍次官 木村 兵太郎

海軍次官 澤本頼雄 殿

陸軍以外ノ官廳等ニ於テ軍機保護法施行規則第一條ニ
 規定スル陸軍ノ軍事上秘密ヲ要スル事項ニ關シ職務上
 必要ナル調査ヲ爲ス行爲ハ假令刑法第三十五條ニ所謂
 法令又ハ正當ノ業務ニ因リ爲シタル行爲ニ該當スル場
 合ト雖モ之カ調査及其ノ成果物ノ取扱、保管ニ關シテ
 ハ嚴重ナルヲ要スヘキヲ以テ自今左記ニ依リ處理相成
 度

海軍公報(部内限)第三千八百九十六號

昭和十六年九月十二日

一一九九

0122

追テ軍機保護法施行規則第一條第一項第三號ト號ノ召集及徵發ニ關スル事項中特ニ指定スルモノニ關シテハ客年二月二十七日附陸普第一二三三號ニ依リ通牒シ置キタルニ付爲念申添フ

左記

- 一、軍事上祕密ヲ要スル事項ノ調査ヲ爲サントスルトキハ先ツ最寄ノ陸軍部隊ニ必要ナル事項ヲ表示スル圖書ノ請求ヲ爲シ之カ貸與ヲ受クル如クスルコト
- 二、前號ノ陸軍部隊ニ於テ所望ノモノヲ得サルトキハ關係部隊(軍、師團、聯隊區各司令部等以下之ニ同シ)ニ請求ヲ爲シ之カ貸與ヲ受クルコト
- 三、關係部隊ニ於テ所望ノモノヲ得サルトキハ其ノ部隊ト協議ノ上之カ調査ヲ爲シ其ノ成果物ハ總テ關係部隊ニ提出シ祕密保持ニ關シ必要ナル措置ヲ執ルヘキコト

軍需機密燃第四四七號

昭和十六年九月十一日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

二號重油使用區分ニ關スル件通牒

昭和十三年軍需機密燃第二六一號通牒首題ノ件中左記

ヲ左記ノ通改正セラレ候

記

追テ昭和十五年軍需機密燃第六號及軍需機密燃第八一號二號重油使用區分ニ關スル件通牒ハ之ヲ廢止ス

燃料名稱	使用區分細目
二號重油	一號、二號、十一號及十三號内火機械 用由式空氣壓縮ポンプ運轉用

參照 昭和十三年十一月二十六日、昭和十五年一月二十二日及昭和十五年三月六日海軍公報(部内限)

○ 辭 令

(各通)

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍艦政本部造船監督官兼海軍航空本部造兵監督官海軍機關大佐

林 敏之

神戶監理官ヲ命ス

神戶監査官ヲ命ス

海軍技術會議 議員海軍少將 鈴木 久武
海軍技術會議 議員海軍大佐 田口 太郎

海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官
海軍航空本部造兵監督官兼海軍機關大佐
野一色 壽

東京監理官ヲ命ス

東京監査官ヲ命ス

海軍技術會議議員海軍中佐 中尾 熊太郎
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(以上^{海軍省})

軍令部課長海軍大佐 田口 太郎

第一部第二課長ヲ命ス

軍令部出仕海軍中佐 中山 一俊

第四部第十課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍少佐 長井 弘介

第四部第九課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍大尉 吉田 俊雄

臨時戰史部勤務ヲ命ス

同 野村 盛弘

副官部勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍中佐 川 瀬 薫

第三部第六課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍大尉伯爵 伏見 博英

第三部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上^{海軍省}軍令部)

海軍大佐 田口 太郎

參謀部第一部第二課長ヲ命ス(以上^{海軍省}大本營海軍部)

第二課勤務ヲ命ス(以上^{海軍省}人事局)

海軍少佐 角田 千代吉

海軍少將 高須 三三郎(艦 本)

海軍中佐 大山 豊次郎(艦 本監)

同 藤 本 傳(艦 本)

海軍少佐 田上 明次(伊^五潛)

海軍大尉 力久 松次(同 右)

海軍機關少佐 片桐 敏朗(艦 本)

同 竹谷 慶次郎(吳 廠)

海軍機關大尉 介持 昌信(伊^五潛)

伊號第二十五潛水艦審議(除航空關係)委員ヲ命ス

海軍中佐 岡田 有作(艦 本)

同 大山 豊次郎(艦 本監)

同 相原 保親(伊^三潛)

(各通) 海軍少佐 田中 萬喜夫(吳 廠)

海軍大尉 島田 武夫(伊^三潛)

海軍機關中佐 熱田 佐太郎(艦 本)

海軍機關少佐 岸本 健雄(伊^三潛)

伊號第十潛水艦審議(除航空關係)委員ヲ命ス

海軍少將 高須 三三郎(艦 本)

海軍中佐 藤 本 傳(同 右)

海軍公報(部内限)第三千八百九十六號

昭和十六年九月十二日

一一〇一

0124

海軍少佐 花房 博志(伊三潜)
海軍大尉 橋本 以行(同右)
(各通) 海軍機關中佐 福島 輝熊(佐廠)

同 寅 雄(吳廠)

海軍機關少佐 片桐 敏朗(艦本)

海軍機關大尉 渡 邊 定(伊三潜)

海軍造船大尉 三嶋 忠雄(佐廠)

伊號第二十四潜水艦審議委員ヲ命ス(以上皆海軍艦政本部)

○ 雜 款

○將旗掲揚
第二十一航空戰隊司令官ハ九月七日將旗ヲ鹿屋海軍航空隊ニ掲揚セリ

○將旗移揚
第一潜水戰隊司令官ハ九月一日將旗ヲさんとす丸ヨリ伊號第九潜水艦ニ移揚セリ

○將旗一時移揚
第六潜水戰隊司令官ハ九月八日將旗ヲ一時伊號第二百一十一潜水艦ニ移揚セリ

○將旗復歸
第一根據地隊司令官ハ八月三十一日將旗ヲ蒼鷹ヨリ白山丸ニ復歸セリ

○司令潜水艦變更
第八潜水隊司令官ハ九月七日司令潜水艦ヲ伊號第四潜水艦ヨリ伊號第六潜水艦ニ變更セリ

○事務開始
第二十一航空戰隊司令部ハ九月七日鹿屋海軍航空隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ
追テ郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

鹿屋海軍航空隊氣付
海軍多田部隊司令部
第二芙蓉丸ハ九月十日靜岡縣賀茂郡下田町下田船渠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

〇 艦船所在

▲印ハ「ハセ」ノ
指定ヲ要セズ

九月十二日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、▷比叡、神威、
赤城、沖島、國後、陸奥、五十鈴、
高雄、瑞穂、翔鶴、▷蒼龍、▷巖島、
長門、摩耶、口鹿島

曙、臘、野分、舞風、萩風▲朝風、旗風、
春風、松風、夕立、五月雨、春雨、▷曉、
響、雷、▷潮、謎、帆船

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

野島

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

伊一九、伊一八、伊二三、▷伊二二

自鷹、千代田

夕霧、夏霧、天霧、狹霧、口吳竹、早苗、
若竹、▷雪風、天津風、浦波、▷朝雲、
峯雲、夏雲、山雲、▷霞、不知火、霞、
海風、江風、山風、涼風、親潮

呂五七▲、呂五八▲、呂五九、呂六四、伊八、
伊五三▲、伊五四、伊五五▲、▷伊七三、伊七一、
伊七三、▷伊七四、伊七五、伊五五、伊五八、
伊三三、▷伊三三

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

伊三三、掃一四、掃一五、掃一六、▷掃一七、
掃一八

海軍公報 (部内限) 第三千八百九十六號 昭和十六年九月十二日

一三〇三

薄雲、夕風
鳩、鷺

呂三四、呂六三、呂六八

伊五二

掃一九

驅潛一〇、驅潛二一、驅潛三三

哨三六、哨三七

(夕雲)、(秋月)

【佐世保】

加賀、飛龍、霧島、妙高、羽黒、北上、
由良、千歳、川内、八重山、阿武隈、
那智

有明、白雲、東雲、叢雲、若葉、初霜、
子日、初春、望月、陸月、卯月、
夕月、沖風、峯風、文月、阜月、水無月、
長月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂六〇、
呂六一、呂六五、呂六六、呂六七、伊五九

伊六一、伊六二、伊六四、伊六六

驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛特五一

哨三九、哨三八

敷島

伊二四、伊二九、伊三九

朝顔、芙蓉

驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八

出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、
熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、
足柄、八丈、嵯峨、橋立、磐手、香椎、
古守、日向、伊勢、加古、古鷹、大鯨

【鎮海】

【作業地】

扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、瑞鳳、
天龍、夕張、迅鯨、勝利、駒橋、能登呂、
鬼怒、常磐、大井、石垣、
栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、羽風、
綾波、磯波、敷波、大潮、荒潮、夏潮、
朝潮、滿潮、初雪、白雪、吹雪、陽炎、
早潮、黑潮、濱風、朝風、追風、疾風、
夕風、白露、夕暮、時雨、如月、彌生、
神風、沼風、三月月、
友鶴、鴻、隼、鶴、雁、雉、真鶴、初雁、
呂六二、伊四、伊五、伊六、伊七、伊九、
伊一七、伊一五、伊一六、伊二三、伊六五、
伊六九、伊七〇
掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、
掃一二
宗谷、攝津、佐多、知床、朝日、室戸、
間宮、鳴戸、鶴見

【航海中】

浦風、磯風 (一日作業地發一吳)

初風 (七日大阪發一吳)

伊五七 (十一日神戶發一吳)

伊六八 (十一日吳發一作業地)

伊三 (十一日橫須賀發一作業地)

早靱 (十一日德山發一佐世保)

隱戸 (十一日吳發一作業地)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年九月十二日(金)
海軍大臣官房

○ 雜 款

在支陸海軍軍人軍屬警察官並其ノ遺族等慰問金釀出明細表 (六月分)
一金壹萬貳千七百貳拾八圓參拾四錢也

内 譯

應 名	金 額	應 名	金 額	應 名	金 額	應 名	金 額
海軍大臣官房	四、五〇〇	海軍省教育局	五、六〇〇	海軍艦政本部	六、〇七〇	海軍軍醫學校	三、九〇七
海軍省調査課	三、七九〇	同 軍需局	七、四〇〇	海軍航空本部	一、六〇〇	海軍經理學校	三、〇三三
同 電信課	三、〇〇〇	同 醫務局	一、五〇六	東京海軍監督官事務所	一、七三五	橫須賀鎮守府	六、五〇〇
海軍文庫	五、四〇〇	同 經理局	一、四七九	侍從武官府	一、三九〇	橫須賀鎮守府文庫	八、七〇〇
海軍省軍務局	二、六七〇	同 建築局	一、四五四	水路部	四、六五八	同 軍法會議	一、四三七
同 兵備局	六、六七〇	同 法務局	三、三〇〇	海軍技術研究所	三、六三〇	橫須賀海軍人事部	五、四九〇
同 人事局 (含武功調査)	九、〇九〇	軍 令 部	三、三三〇	海軍大學校	六、二七〇	同 艦船部	三、七三〇

海軍公報 (部内限) 號外

0128

館山海軍砲術學校	海軍砲術學校	海軍航空技術廠	海軍航空技術廠	海軍航空技術廠	橫須賀海兵團	同 通信隊	同 港務部	同 刑務所	同 病院	同 航空隊	同 工廠	同 建築部	同 軍需部	部 橫須賀海軍經理
三九〇	一八〇	一三六〇	五三九〇	一三〇九〇	七六九〇	二〇九〇	五三三〇	七四〇	一六三四〇	六三四五〇	五七三三〇	一〇七七〇	四六九〇	四七四〇
同 軍法會議	庫 佐世保鎮守府文庫	佐世保鎮守府	吳海軍工廠內技手養成所	吳海兵團	同 港務部	同 刑務所	同 工廠	同 建築部	同 軍需部	同 經理部	同 軍法會議	吳鎮守府文庫	海軍工作學校	海軍工機學校
二九〇	一九七〇	四九九〇	一八四三〇	五三三三〇	三三六〇	五八三〇	七四二三〇	一五二八〇	三七四六〇	三七〇	一三六三〇	三六八〇	六六〇	九三三〇
大湊海軍建築部	大湊要港部	鎮海防備隊	鎮海海軍航空隊	鎮海要港部	佐伯防備隊	同 港務部	同 刑務所	同 病院	同 航空隊 (含川水渡送隊)	同 工廠	同 建築部	同 軍需部	同 經理部	部 佐世保海軍人事
四六〇	五五〇	五〇〇	三〇五〇	一七四〇	一〇三七〇	六八三〇	六三三〇	一〇二七〇	七三三〇	四三八三〇	一六八三〇	三〇二七四〇	四七七〇	四八一〇
大阪海軍監督官事務所	光海軍工廠	豐川海軍工廠	廣海軍工廠	第五海軍燃料廠	第三海軍燃料廠	第二海軍燃料廠	第三海軍火藥廠	第二海軍火藥廠	第一海軍火藥廠	海軍兵學校	嬉野海軍病院	別府海軍病院	同 通信隊	大湊海軍工作部
二八八〇	七五〇	六四六〇	三三七〇	六四三〇	一〇九五〇	七〇〇〇	三九七〇	八三九〇	三九九〇	三七三三〇	三九五〇	三二五〇	六六〇	一〇九〇

昭和拾六年七月參拾壹日		八幡海軍監督官事務所	一五九〇	大田海軍監督官事務所	三三〇〇
名古屋同	四一六〇	名古屋地方海軍人事部	一〇〇〇		
浦賀同	一三七〇〇	大阪同	八三〇〇		
福岡同	一九二四〇	阪神海軍部	三六四〇		
玉同	九八七〇	伊號第二十三潜水艦事務所	一七八〇〇		
廣島同	一九二四〇				

海軍省經理局
海軍主計少佐 茶谷 東海

0130

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千八百九十七號

昭和十六年九月十三日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一一號ノ六九

昭和十六年九月十三日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

兵器簿ノ件通達

左記各艦兵器簿砲術長主管之部中左記ノ通改正ス

區分	類 別	品 名	數 稱	數 量	該 當 艦	雜 記	摘 要
追加	五十口径 二號二十 種砲	九一式 時限信 管目盛 加減器	個	砲一門ニ付 一個	戰艦	二型ヲ代 用シ得	砲身附屬具 ノ部中ニ追 加記入
同	五十口径 種砲	九一式 時限信 管同螺 器	個		巡洋艦		
同	五十口径 種砲	九一式 時限信 管同螺 器	個		練習艦		
同	五十口径 種砲	九一式 時限信 管同螺 器	個		航空母艦		
同	五十口径 種砲	九一式 時限信 管同螺 器	個		敷設艦		

○辭 令

通信書記補 中島 勇
同 松島 慧

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス 同 岡 巖
遞信局書記補 阿部 日出生
第六海軍軍用郵便所員ヲ命ス

海軍公報(部内限)第三千八百九十七號

昭和十六年九月十三日

一二〇五

0131

(各通)

事務員 横尾 佐造
同 松林 藤男

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

同 若松 澄治

第二海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上^{海軍省}海軍省)

海軍大佐 水井 静治(艦本)
海軍大尉 黒木 俊忠郎(元驅潜)

(各通)
海軍機關中佐 山本 良材(艦本監)
海軍機關少佐 山上 實(艦本)

海軍技師 菅 繁(艦本監)
同 上羽 助太郎(同)

第十九號驅潜艇審議委員ヲ命ス(海軍艦政本部)
海軍主計大佐 服部 薫

在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ
海軍技手 山口 鶴吉

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上^{海軍航}海軍航空本部)
海軍機關大佐 林 敏之

在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 野一色 壽

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ
海軍機關少佐 三木 正彦

總務部第一課勤務ヲ命ス
海軍書記 吉川 金松

主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(以上^{海軍省}海軍省)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第五航空戰隊司令官ハ九月十日旗艦ヲ翔鶴ニ變更セリ

支那方面艦隊司令長官ハ九月十一日旗艦ヲ飛鳥ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦一時變更

第十七驅逐隊司令ハ九月十日司令驅逐艦ヲ一時濱風ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

第二遣支艦隊司令部宛
自今 軍艦五十鈴司令部

○書類發送先
自今當所宛書類ハ左記ニ送付相成度

記

神戸市神戸區海岸通税關港務部内
(阪神海軍部神戸出張所長)

○練習生採用試験問題發送
第七十四期普通科機關術
第七十五期普通科電機術
練習生採用試験問題
右九月十日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ
至急御通知相成度

記

- 一、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送
- 二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部第一課長宛送付
(聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ豫定變更ノ爲聯合
試験參加不能ノ向ニ對スル分トシテ若干ノ餘裕ヲ含
ム)

(海軍工機學校)

海軍公報(部内限)第三千八百九十七號

昭和十六年九月十三日

一三〇七

0133

○艦船所在

▲印ハ「ハ」水ノ指定ヲ要セズ

九月十三日午前十時

【横須賀】春日▲、劍埼▲、山城▲、金剛、榛名、比叡、神威、口赤城、沖島、國後、陸奥、五十鈴、口高雄、瑞穂、口翔鶴、蒼龍、口嚴島、口長門、摩耶、口鹿島、島海、愛宕、曙、隴、野分、舞風、萩風▲、朝風、旗風、口春風、松風、夕立、五月雨、春雨、曉、響、雷、口潮、帆風、伊一八、口驅潜一、驅潜二、驅潜三、野島、津輕▲、(伊三三)▲、(伊三七)▲、【長浦】口嵐▲、伊三、伊一、伊二〇、口伊二三、伊二四、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、哨一▲、哨二▲、【横濱】口香取、口汐風、口村雨、電、筑紫▲、(驅潜三三)▲、(秋雲)▲、浦賀、野風、波風、館山、澤風、大泊、口驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四、大泊、吳、淺間▲、八雲▲、口熊野、三隈、最上、鈴谷、

龍嶽、口神通、初鷹、鳳翔、白鷹、千代田、夕霧、天霧、狹霧、口吳竹、早苗、若竹、雪風、天津風、浦波、口朝雲、紫雲、夏雲、山雲、口夜、不知火、霞、口海風、江風、山風、涼風、親潮、時津風、口呂五七、呂五八、呂五九、呂六四、伊八、伊五三、伊五四、伊五五、口伊五七、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七八、口伊三二、伊三三、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、口掃一七、掃一八、口驅潜七、驅潜八、驅潜九、驅潜二〇、驅潜二一、哨四六、哨三三、哨三三、哨三四、哨三五、櫻野、石廊、尻矢、襟裳、明石、日進▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲、【大阪】▲長鯨、矢風、球摩、【神戸】球摩、瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲、(秋津洲)▲、【相生】(驅潜一九)▲、(驅潜三三)▲、(若應)▲、【相生】▲谷風、【玉】▲伊六〇▲、【佐伯】▲那珂、驅潜特五三▲、驅潜特五三▲、哨三三、【舞鶴】香妻▲、龍田、口利根、筑摩、口多摩、木曾、蒼鷹、口名取、口長良、

海軍公報(部内限)第三千八百九十七號

昭和十六年九月十三日

一一〇九

薄雲▲、夕風

鳩、鷺

呂三四▲、呂六三、呂六八

伊五二

掃一九

驅潛一〇、驅潛一一、驅潛二二

哨三六▲、哨三七▲

(夕雲)▲(秋月)▲

【佐世保】

加賀、飛龍、霧島、妙高、羽黑、北上

由良、千歲、川内、八重山、那智

有明、白雲、東雲、叢雲、若葉、初霜

子日、初春、望月、睦月、卯月、巳月、

夕月、沖風、峯風、文月、皐月、水無月、

長月、夏潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂三四▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六四▲、呂六五▲、

呂六六▲、呂六七▲、呂六八▲、呂六九▲、

伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、

伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、

驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛特五一▲

哨三九、哨三八

敷島▲

(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

【鎮海】朝顔、芙蓉

驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八

【作業地】出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、阴田、

足柄、八丈、嵯峨、橋立、磐手、香椎、

占守、日向、伊勢、加古、古鷹、大鯨、

扶桑、青葉、衣笠、瑞鳳、天龍、夕張、

迅鯨、勝力、駒橋、能登呂、鬼怒、常磐、

大井、石垣

栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、羽風、

綾波、磯波、敷波、大潮、荒潮、夏潮、

朝潮、滿潮、初雪、白雪、吹雪、陽炎、

早潮、黑潮、濱風、朝風、追風、疾風、

夕風、白露、夕暮、時雨、如月、彌生、

神風、沼風、三日月

友鶴、鴻、隼、鴨、雁、雉、真鶴、初雁、

千鳥

呂六二、伊六、伊四、伊五、伊七、伊九、

伊一七、伊一五、伊一六、伊一九、伊二三、

伊二二、伊二三、伊六五、伊六九、伊七〇、

掃五、掃七、掃八、掃九、掃二〇、掃二一、

掃三

宗谷、攝津、佐多、知床、朝日、室戸、

間宮、鳴戸、鶴見、隠戸

【航海中】浦風、磯風(一日作業地發一吳)、

初風(七日大阪發一吳)、

伊六八(十一日吳發一作業地)、

伊三(十一日橫須賀發一作業地)、

早鞆(十一日徳山發一佐世保)、

阿武隈(十二日佐世保發一作業地)

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八百九十八號

海軍大臣官房

昭和十六年九月十五日(月)

○令達

官房第四六四七號ノ二
第四艦隊司令部供用中ノ内火艇一隻、舊特務艦青島還
納第一通船及特務艦鳴門還納通船ヲ雜役船ニ編入シ其
ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十六年九月十一日

海軍大臣

公稱番號	船種	所屬	別定數	記	事
第二四七號	内火艇 (九米)	横須賀海軍 港務部	臨時 附屬	M七二六	
第三四八號	傳馬船 (八米)	同	同	舊特務艦青島還納ノ モノ	
第三四五號	同	同	同	特務艦鳴門還納ノモ ノ	

官房第四八七四號
昭和十五年官房第三三七五號中「海軍航空隊」ヲ「海
軍航空隊其ノ他ノ部隊」ニ、「當該航空隊」ヲ「當該部

海軍公報(部内限) 第三千八百九十八號

昭和十六年九月十五日

一三二二

隊ニ改ム

昭和十六年九月十五日

海軍大臣

海軍諸例
則登載

参照 昭和十五年官房第三三七五號ハ航空隊設立準備員ノ人事ニ關
シ所轄長ノ職務執行ノ件ナリ

官房機密第六五二二號ノ二

昭和十六年官房機密第六五二二號中横須賀、館山海軍
砲術學校特修科學生及海軍機雷學校特修科學生ノ採用
ハ之ヲ取止ム

昭和十六年九月十五日

海軍大臣

○通牒

官房第四八一三號

昭和十六年九月十二日

海軍次官

關係各廳長殿

海軍諸例
則登載

海軍技手養成所練習工選抜資格ニ關スル件
申進

海軍技手養成所練習工志願者ニシテ見習成業後工作科
豫備補習生ニ採用セラレタル者ニ付テハ其ノ工作科豫
備補習生タル期間ハ之ヲ海軍技手養成所規則第十二條
第二號ニ依ル海軍工員トシテ服業シタル期間ト看做ス
コトニ定メラレ候

海人第一三三號
昭和十六年九月十五日

海軍省人事局長

各所轄長殿

定期進級(任用)及増俸時期ニ關スル件
申進

本年度士官特務士官(召集中ノ者ヲ含ム)及召集中ノ
豫備士官ノ定期進級(任用)及士官ノ増俸ハ左記ニ依
リ實施セララル豫定ニ有之候

記

- 一、士官特務士官(召集中ノ者ヲ含ム)及召集中ノ豫
備士官ノ進級(任用) 十月十五日
- 二、士官ノ増俸 十二月一日

艦本機密第五號ノ八七九九

昭和十六年九月十三日

海軍艦政本部總務部長

關係各廳長殿

艦本機密(普)報送付先竝ニ部數ノ件申進
首題ニ關シ左記及別紙ノ通定メラレ候條了知相成度
尙編制、役務等ノ變更ニ依リ不要トナリタル場合ハ當
部宛返送ノコトニ取計相成度

記

- 一、艦隊司令部、戰隊司令部、根據地隊司令部ニハ各
一冊トス
- 二、艦艇、特務艦艇ニハ艦本機密(普)報抄萃「艦船
參考用」各一冊トシ驅潛艇、敷設艇等防備隊附屬艇
ニ關シテハ各防備隊ニ各一冊トス
(別表艦本機密(普)報送附先及部數表添)

○雜款

○移轉
第五海軍軍用郵便所ハ九月十五日軍艦足柄ヨリ廣東方
面特別根據地隊ニ移轉セリ

(別表)

(昭和十六年九月十五日海軍公報(部内限))

送 附 先 部 數				艦 本 機 秘 (普) 報				送 附 先 及 部 數											
送	附	先	部 數	送	附	先	部 數	送	附	先	部 數	送	附	先	部 數				
海軍 艦政 本部	總務部	第一課	1	海軍 工廠	吳	造船部	1	海軍 工廠	舞鶴	總務部	1	海軍 監督 官	大阪	須賀	1				
		第二課	1			造船機部	21			造船兵部	1			神戸	1	海軍艦船部	吳	1	
		第五課	1			製鋼部	1			造船機部	1			長崎	1	海軍艦船部	佐世保	1	
	第一部	2	潜水艦部			1	造船機部			21	名古屋			1	海軍要港部	舞鶴	1		
	第二部	2	電氣實驗部			1	機關實驗部			5	浦賀			1	海軍要港部	大湊	1		
	第三部	2	造船實驗部			1	會計部			1	室蘭			2	海軍要港部	旅順	1		
	第四部	2	製鋼實驗部			1	工員養成所			1	八幡			1	海軍要港部	鎮海	1		
	第五部	30	會計部			1	豐川總務部			1	廣島			2	海軍要港部	馬公	1		
	第六部	1	工員養成所			1	光總務部			1	福岡			1	海軍要港部	橫須賀	1		
	第七部	1	會計部			1	海軍工作部			大湊	1			玉	1	海軍要港部	吳	1	
海軍 工廠	横須賀	總務部	1	佐世保	造船部	1	海軍 省	旅順要港部	工作部	海軍技手養成所	1	海軍 省	軍令部	第三課	海軍大學校	1			
		造船兵部	1		第一工作部	1				海軍省	軍務局				第一課	1	海軍大學校	1	
		造船部	1		朝日工作部	1				海軍省	軍務局				第三課	1	海軍大學校	1	
		造船機部	21		明石工作部	1				海軍省	軍務局				教育局	1	海軍大學校	1	
		電池實驗部	1		海軍技術研究所	總務課				1	海軍省				軍務局	軍需局	1	海軍大學校	1
		機關實驗部	5		海軍技術研究所	理學研究部				1	海軍省				軍務局	軍需局	1	海軍大學校	1
		會計部	1		海軍技術研究所	材料研究部				1	海軍省				軍務局	軍需局	1	海軍大學校	1
		工員養成所	1		海軍技術研究所	造船研究部				1	海軍省				軍務局	軍需局	1	海軍大學校	1
		總務部	1		海軍技術研究所	東京				4	海軍省				軍務局	軍需局	1	海軍大學校	1
		電氣部	1		海軍技術研究所	東京				4	海軍省				軍務局	軍需局	1	海軍大學校	1

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

九月十五日午前十時

【横須賀】春日▲、劍埼▲、山城▲、金剛▲、榛名▲、
 ▶比叡、神威、口赤城、沖島、國後、
 陸奥、五十鈴、口高雄、瑞穂、▶翔鶴、
 ▶蒼龍、▶嚴島、口長門、摩耶、口鹿島、
 鳥海、愛宕、▶那珂
 龍、漣、野分、舞風、萩風▲、朝風、旗風、
 春風、松風、夕立、五月雨、春雨、▶曉、
 響、雷、口潮
 口驅潜一、驅潜二、驅潜三
 (津輕)▲(伊三三)▲(伊三七)▲
 【長浦】口嵐▲
 伊一、伊三〇、口伊二三、伊二四
 掃六、掃一、掃三、掃四、掃五
 哨一▲、哨二▲
 【横濱】口香取
 口村雨、電
 (筑紫)▲(驅潜三)▲
 【浦賀】(秋雲)▲
 【館山】澤風
 【大湊】野風、波風
 口驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四
 大泊
 【吳】淺間▲、八雲▲、▶熊野、三隈、最上、鈴谷、
 ▶神通、初鷹、鳳翔、白鷹、千代田、伊勢、
 加古、古鷹

口夕霧、天霧、狹霧、口吳竹、早苗、若竹、
 口雪風、天津風、浦波、口朝雲、峯雲、
 夏雲、山雲、口霞、不知火、陽炎、霞、
 親潮、時津風、口綾波、磯波、敷波
 口呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、呂六四▲、伊八、
 口伊五三▲、伊五四、伊五五▲、口伊五七、口伊七四、
 伊七五、伊五六、伊五八、口伊一二、
 伊一二三
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、口掃一七、
 掃一八
 口驅潜七、驅潜八、驅潜九、驅潜二〇、驅潜二二
 哨四六▲、哨三三、哨三三、哨三四、哨三五
 樫野、尻矢、襟裳、明石
 (日進)▲(伊二七)▲(伊三五)▲(伊七六)▲
 【大阪】口長鯨
 矢風
 【神戸】球摩
 (瑞鶴)▲(伊良湖)▲(伊二〇)▲(伊二五)▲
 (伊三二)▲(伊四一)▲(伊一一)▲(秋津洲)▲
 【相生】(驅潜一九)▲(驅潜三)▲(若鷹)▲
 口谷風
 【玉】口伊六〇▲
 【徳山】石廊
 【佐伯】龍驤
 口汐風、帆風
 驅潜特五二▲、驅潜特五三▲
 哨三一
 【舞鶴】吾妻▲、龍田、▶利根、筑摩、口多摩、

海軍公報(部内限)第三千八百九十八號

昭和十六年九月十五日

一一一三

0139

木曾、蒼鷹、▷名取、□長良
薄雲、夕風
鳩、鷹

呂三四、□呂六三、呂六八

伊五二

掃一九

□驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二

□三六、□三九

□三六、□三七

【佐世保】

加賀、飛龍、霧島、▷妙高、羽黑、北上

▷由良、▷千歲、▷川内、八重山、那智

□白雲、東雲、叢雲、□若葉、初霜、子日

初春、望月、睦月、卯月、□菊月、夕月

沖風、峯風、□文月、皐月、水無月、長月

夏潮、□海風、江風、山風、涼風

呂三〇、呂三一、呂三二、□呂三三、呂六〇、

呂六一、伊六二、伊六四、伊六六、

伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、

伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、

伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、

伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、

伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、

伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、

伊九八、伊九九、伊一〇〇、伊一〇一、伊一〇二、

伊一〇三、伊一〇四、伊一〇五、伊一〇六、伊一〇七、

伊一〇八、伊一〇九、伊一一〇、伊一一一、伊一一二、

伊一一三、伊一一四、伊一一五、伊一一六、伊一一七、

伊一一八、伊一一九、伊一二〇、伊一二一、伊一二二、

伊一二三、伊一二四、伊一二五、伊一二六、伊一二七、

伊一二八、伊一二九、伊一三〇、伊一三一、伊一三二、

伊一三三、伊一三四、伊一三五、伊一三六、伊一三七、

伊一三八、伊一三九、伊一四〇、伊一四一、伊一四二、

伊一四三、伊一四四、伊一四五、伊一四六、伊一四七、

伊一四八、伊一四九、伊一五〇、伊一五一、伊一五二、

伊一五三、伊一五四、伊一五五、伊一五六、伊一五七、

伊一五八、伊一五九、伊一六〇、伊一六一、伊一六二、

伊一六三、伊一六四、伊一六五、伊一六六、伊一六七、

伊一六八、伊一六九、伊一七〇、伊一七一、伊一七二、

【鎮海】

朝顔、芙蓉

驅潜一六、驅潜一七、驅潜一八

□出雲、□宇治、安宅、二見、伏見、比良

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田

□足柄、八丈、嵯峨、橋立、□磐手、□香椎

占守、□日向、▷大鯨、扶桑、▷青葉

【航海中】

浦風、磯風(一日作業地發一吳)、

初風(七日大阪發一吳)

伊六八(十一日吳發一作業地)

伊一八(十三日橫須賀發一作業地)

有明(十四日佐世保發一作業地)

伊七二(十四日吳發一作業地)

衣笠、瑞鳳、天龍、▷夕張、▷迅鯨、勝力、
駒橋、能登呂、▷鬼怒、▷常磐、大井、石垣、
阿武隈

栗、梅、蓮、刈萱、□秋風、太刀風、羽風

▷大潮、荒潮、夏潮、朝潮、滿潮、□初雪

白雪、吹雪、□早潮、黑潮、濱風、□朝風

追風、疾風、夕風、□白露、夕暮、時雨

□如月、彌生、□神風、沼風、三日月、曙

友鶴、鶴、雉、鴨、□雁、雉、真鶴、□初雁

呂六三、伊三、伊六、伊四、伊五、

伊七、伊九、伊一七、伊一五、伊一六、

伊一九、伊二二、伊二二、伊二三、伊二六、

伊二九、伊三〇、伊七一、伊七三、

伊六九、伊七〇、伊七一、伊七三、

伊六九、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、

伊六九、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、

宗谷、攝津、佐多、知床、朝日、室戸、

間宮、鳴戸、鶴見、隱戸、野島